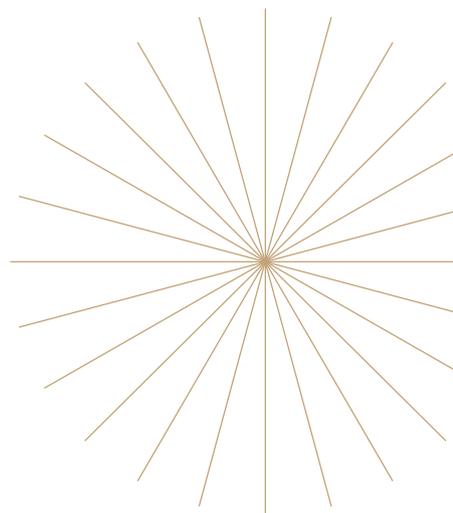
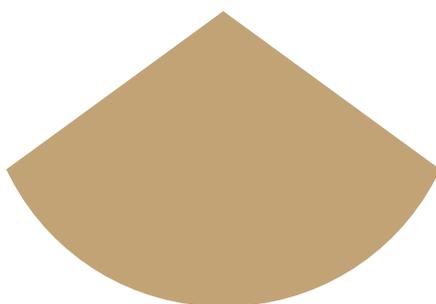
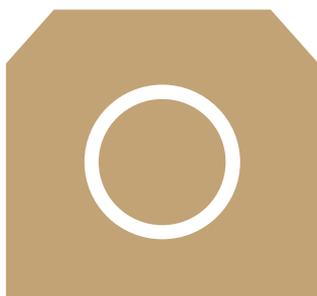
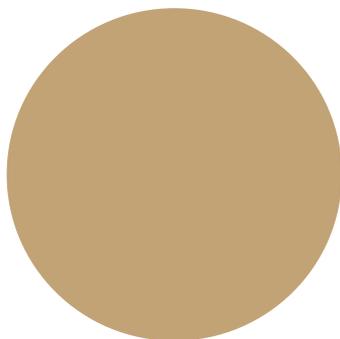


南九州市

撮り刻

P H O T O
G U I D E
B O O K





0 7 : 2 4





05:51



06:38





07:02

若緑に包まれる

深くて美しいみどり色をした知覧茶。その特徴である爽やかな香りとまろやかな甘さは、つくり手たちのひたむきさの証です。生産者がお天道様と向き合いながらひたすらに愛情を注いで茶葉を育てあげ、茶匠が茶葉を聞きながら磨きあげることで、日本一の知覧茶が生まれます。知覧茶の芽吹き時期はとりわけ目にも美しく、市のあちらこちらがみずみずしい若緑に彩られます。

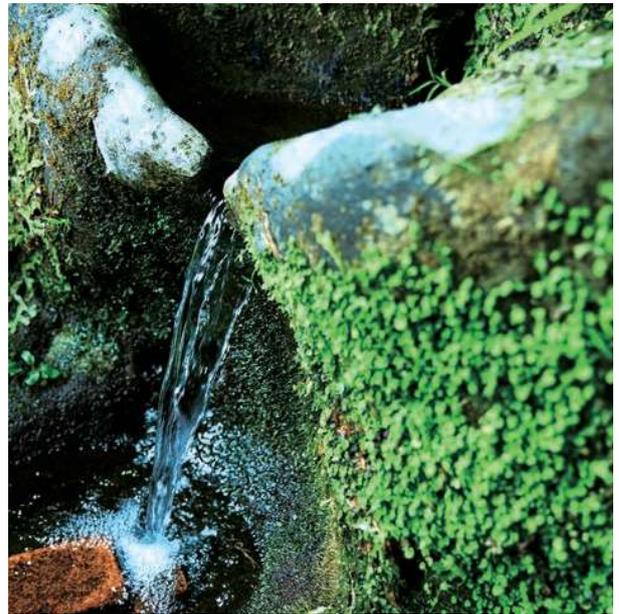
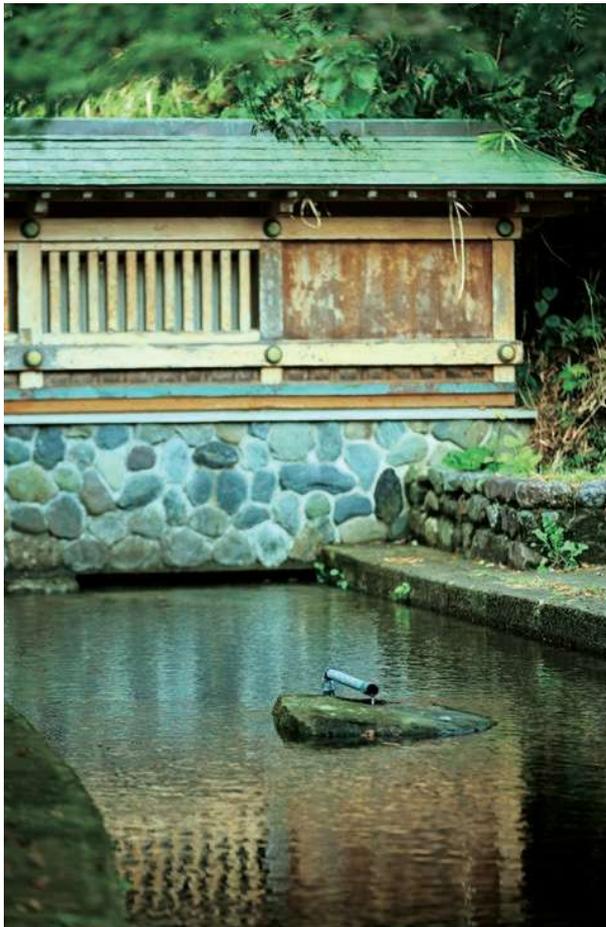




山中の瀑を眺める

名勝・八瀬尾の滝。大小さまざまな流れが10数か所もの滝を形づくっています。明治の初め、この地を訪れた歌人・八田知紀が、次のような和歌を残しました。

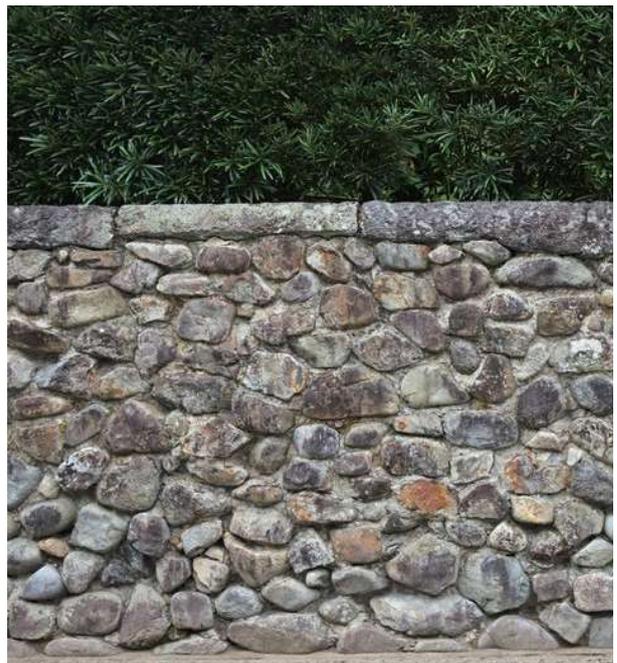
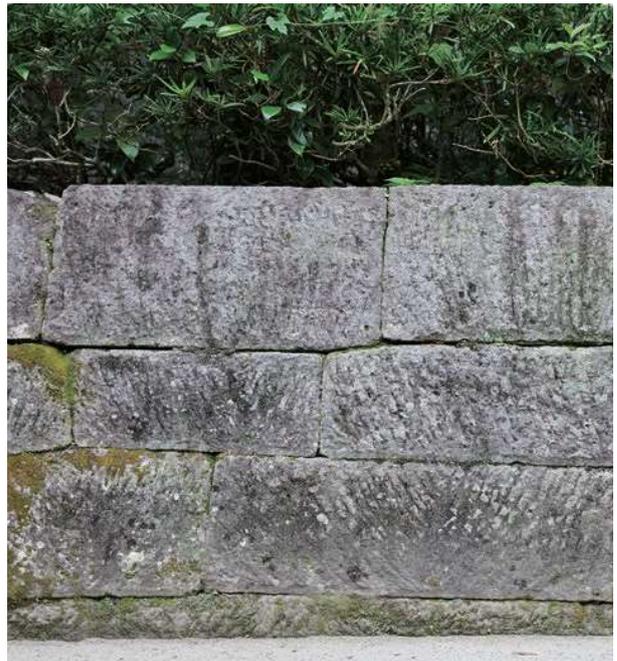
白雲の幾重かさなる高嶺より落ち来る滝の流れなるらむ



湧水を味わう

美味しい食があるところには、美味しい水があります。名水百選の「清水の湧水」は上水道源になっており、今も多くの人々が水を汲みに訪れます。南九州市の湧水は、焼酎を割ったりコーヒーを淹れたりと、人々の暮らしに深く根付いています。



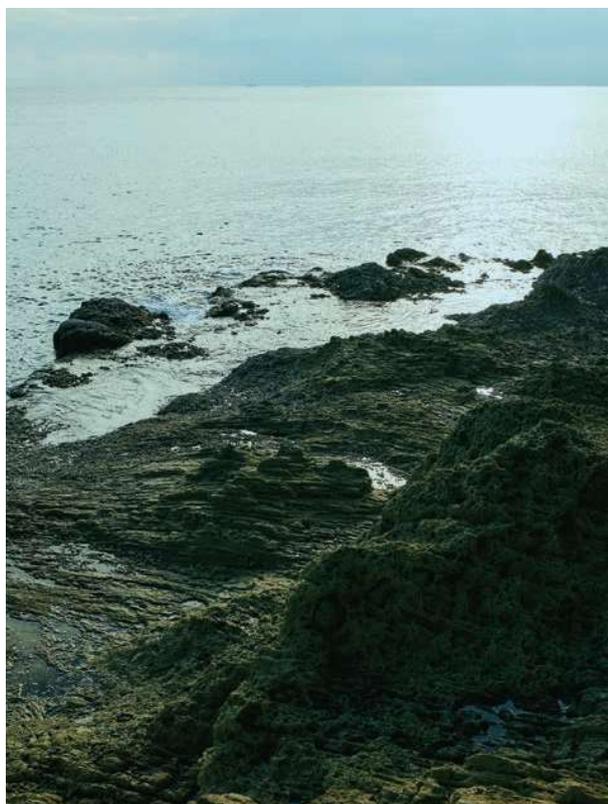
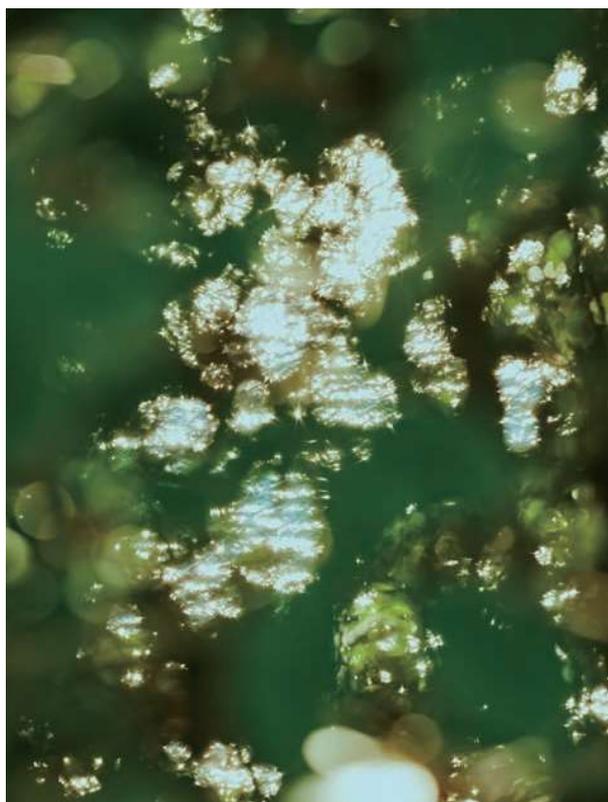


武士の暮らしを紐解く

知覧武家屋敷庭園群は、薩摩藩が山城を中心に「麓」と呼ばれる武家屋敷群を点在させ藩の防衛を担わせた「麓」のひとつです。縁起物や借景、大刈込に奇石など、今に残る7つの庭園それぞれにしつらえられた薩摩武士の粋はもちろん、門の造りや石垣の組み方、生垣などの細部に至るまで、薩摩武士がそれらに込めた意味や理由が、ここにあります。



1 5 : 2 4



開聞岳を望む

まるで海の上に浮かぶようにそびえるのは、その円錐形の美しい山谷から「薩摩富士」とも呼ばれる開聞岳。とりわけ、薩南海岸県立自然公園の一部に指定されている瀬平自然公園から望む開聞岳の姿は、南九州市の人々の誇りとも言える景勝です。

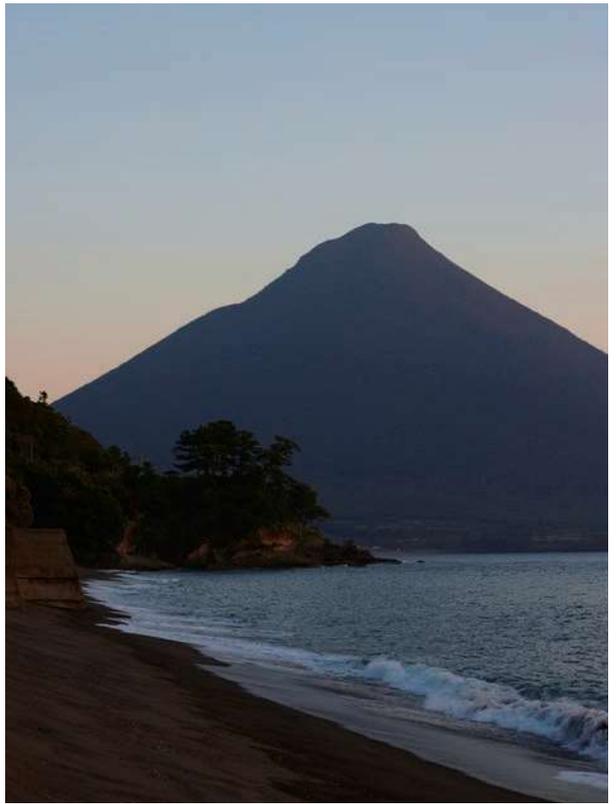




平和を祈る

第二次世界大戦末期の沖縄戦、ここ知覧から多くの特攻隊員が出撃しました。17歳から32歳、平均年齢21.6歳の青年たちが、確かに生きて、家族に言葉と思いを遺し、そして未来に希望を託して沖縄の空に飛び立ったことを、知覧特攻平和会館は静かに伝えています。







06:37



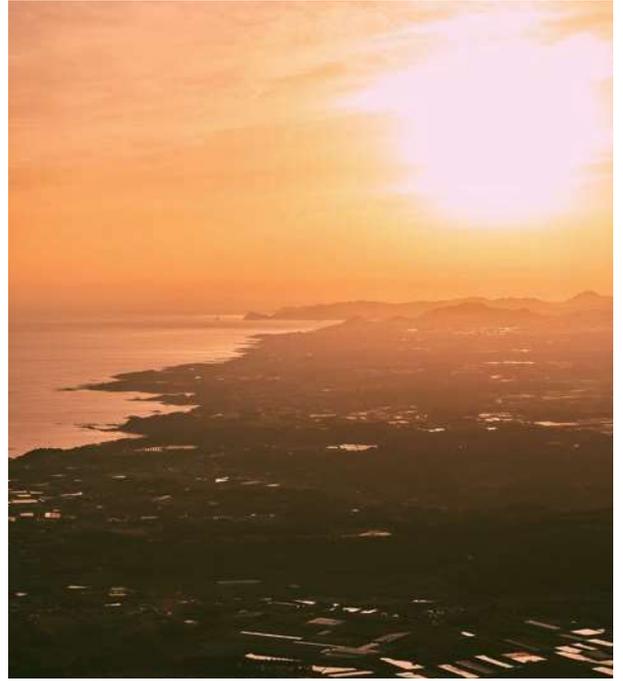
武運を願う

スサノオノミコトを祀る射楯兵主神社は、通称「釜蓋神社」と呼ばれています。薩南海岸県立自然公園の海岸線のすぐそばにあるため、海を背景に朝陽と夕陽で異なる趣を見せてくれます。釜の蓋を頭に載せて祈願する「釜蓋願掛け」には、武道、勝負事、厄除け、開運の御神徳があるとされています。



冬を目の当たりにする

大根やぐらの立つ景色は、南九州市に冬の到来を告げる風物詩です。その高さは大きなもので7m、長さは30mから100mにも及びます。12月～1月にかけて太陽の光と海からの風をたくさん浴びた大根は、おいしい漬物になります。



18 : 26



18 : 47

A ダイヤモンド薩摩富士

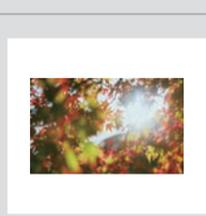


冬|早朝
開聞岳に寄りすぎず、空の色や海面への照り返しもあわせて引きで撮影することで、雄大さが表現できます。

B 岩屋公園



秋|午後
サクラノヤカタと紅葉した紅葉の木のように目立つ被写体が複数ある場合は、対に配置することでバランスの取れた安定感のある写真になります。



秋|午後
逆光を捉え紅葉のシルエットも加えることで、その場で覗き込んでいるような臨場感を表現できます。

C コスモス畑



秋|午後
ビントを奥に設定し手前ボケをつくることで、コスモスの色の鮮やかさを際立たせることができます。



秋|午後
コスモスと空を電車の線路で水平に2分割すると、写真中の要素が整理されすっきりとした印象になります。

D 茶畑



春|早朝
新芽と朝露。見せたい箇所にビントを合わせることで、写真を見る人の視線を誘導することができます。

E 茶ばっけん丘



春|早朝
手前にあえて茶葉をいれてボケをつくることで、写真に奥行きが生まれスケール感を表現できます。



春|早朝
朝日に照らされた茶葉にあたる光を大きくぼかすことで生まれる玉ボケで、みずみずしい新芽の淡い緑の美しさを際立たせることができます。

F 八瀬尾の滝



秋|午後
滝など高さのある被写体は、水平垂直を意識しながら低い位置から煽り気味の角度で撮影すると迫力感を演出できます。



秋|午後
三脚でカメラを固定しシャッタースピードを調整することで、水の表情を変えられます。この写真はシャッタースピードを速く設定し、水の粒を捉え勢いを表現しています。

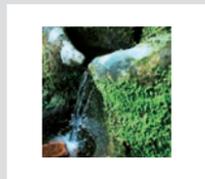


秋|午後
この写真はシャッタースピードを遅く設定し、水の流れを捉え柔らかさを表現しています。

G 清水の湧水

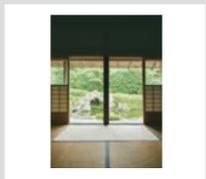


秋|午後
構える角度を探って、様々なアングルから水面への映り込みを捉えることで、独特な景観に変わります。



秋|午後
表現したいシャッタースピードに合わせて寄り撮影することで、水のシズル感を表現できます。

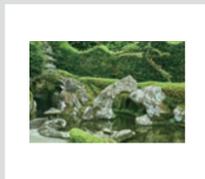
H 知寛武家屋敷庭園群



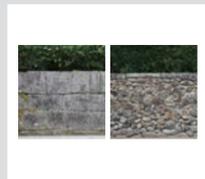
夏|午後
左右対称の被写体を撮影する時は、左右のバランスが崩れていると違和感を生じるため、シメトリ的な構図を意識します。



夏|午後
写真の中のある一点からの放射線状の線と目線の高低を意識することで、写真に奥行きが生まれます。

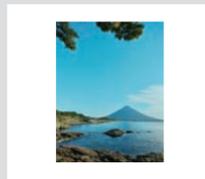


夏|午後
生垣や植木の緑色と庭石の灰色の面積という色の割合やバランスを意識することで、落ち着いた雰囲気になります。

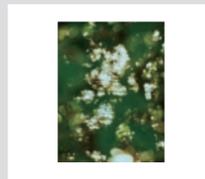


夏|午後
あえて同じ構図で異なる被写体を捉えることで、被写体そのものの差異を際立たせることができます。

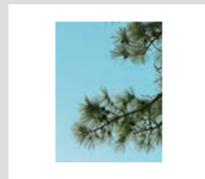
I 瀬平自然公園



冬|午後
カメラと被写体の間にある要素を入れつつ、空の面積を広くすることで、奥行き感と雄大さを表現することができます。



冬|午後
逆光で撮影することで、手前の葉の淡いシルエットの奥に明るい海が覗く幻想的な表現になります。



冬|午後
見慣れた松の葉も、青い空を背景に、画角に対して対角線上に配置することで、雰囲気のある写真になります。



冬|午後
被写体を対角線上に配置し、さらに海に映る陽光を取り入れることで、岩場の海岸線ならではの立体感ある陰影が生まれます。

J 知寛特攻平和会館



春|午前
手前ボケをつけて生まれる奥行き感をつかい、特攻隊員が桜花に囲まれているような雰囲気演出することができます。



春|午前
桜だけではなく、桜花の周辺にある要素もあえて画角に入れることで、その場・その時にしか撮れない表現になります。



通年
カメラを構える場所や高さ、角度などの違いを意識することで、自分だけの目線を表現することができます。



春|午前
複数の要素を同時に収めたい場合は、被写体に対して少し角度をつけ、それぞれが被らないように意識します。

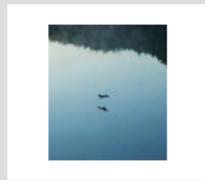
K 川辺の朝霧



冬|早朝
あえて少し暗く撮ることで、幻想的な朝霧の白を引き立たせつつ、月をアクセントとして入れて画を引き締めます。



冬|早朝
空と同時に周辺の風景を水面へ映り込ませることで、早朝の幻想的な印象を表現することができます。



冬|早朝
撮影地の生き物なども一緒にアクセントとして入れることで、普段とは一味違う風景写真になります。

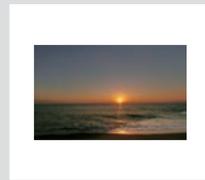
L 前原海岸



冬|夕方
暮れる間際の太陽と海面の照り返し。水平を保ちながら2分割の構図を意識することで、どちらも引き立てることができます。

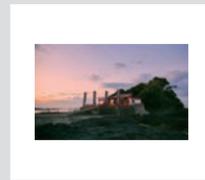


冬|夕方
あえて日が暮れかけている時間帯に撮影することで、しっとりした稜線を表現することができます。

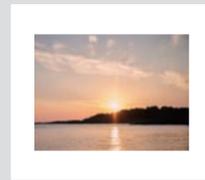


冬|夕方
水平を意識しながら空と海面で画角を2分割し、横位置に配置することで、広がり感を表現することができます。

M 釜蓋神社

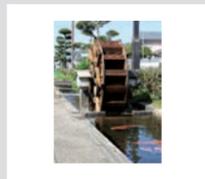


冬|早朝
被写体のある場所や周囲の環境に特徴がある場合、引きのアングルでまわりの要素も入れると独特の景観が表現できます。

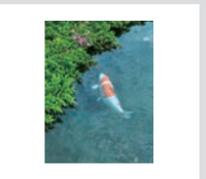


冬|夕方
水平を意識しながら空と海の境で画角を3等分し、空の面積を広く取ることで、広がり感を表現することができます。

N 清流溝



春|午前
低い位置から煽り気味に被写体を捉えることで、水車の存在感を表現することができます。



春|午前
鯉に寄って撮影しがちですが、植物と水面の境を対角線に配置することで、画角に落ち着きが生まれます。

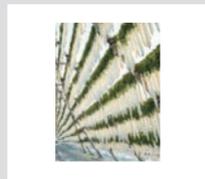


春|午前
被写体の手前であえてボケをつくるように撮ることで、写真に立体的な奥行きが生まれます。

O 大根やぐら



冬|朝
水平を意識しながら空と大根やぐらの境界で画角を3等分し、空の面積を広く取ることで、すっきりとした写真になります。



冬|朝
写真の角に向かって三角形の頂点が伸びるような構図にすることで、被写体の存在感や安定感を演出することができます。

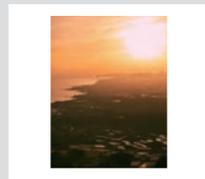


冬|朝
煽った状態で足元に空間を設けるなど、普段は見えないようなアングルを探すことで、新鮮な印象が生まれます。

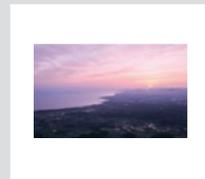
P 大野岳公園



春|午後
画角のなかに茶畑の数と割合を多く収めることで、高い場所からの広大な茶畑を表現することができます。



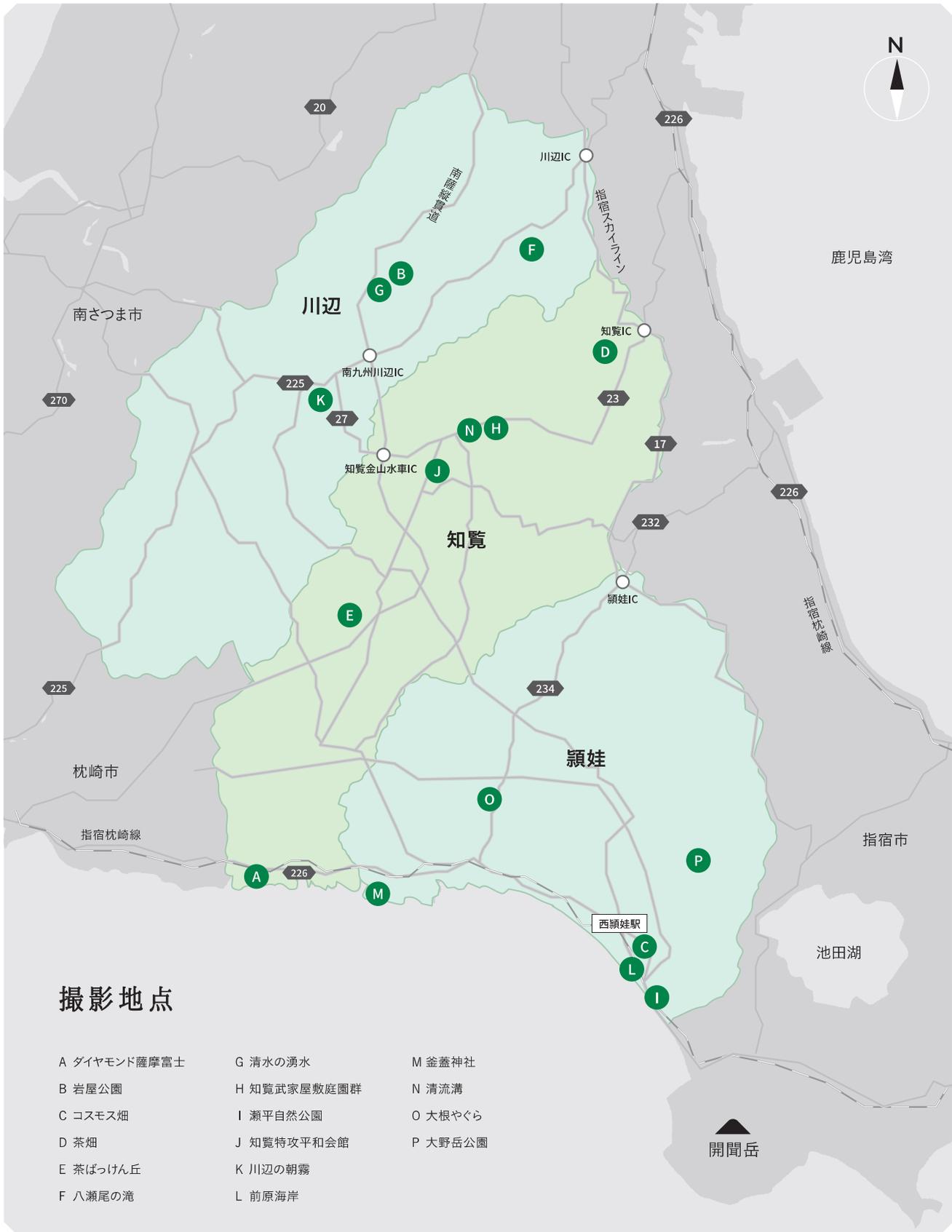
春|夕方
暮れる間際の陽光を大きく捉えることで、夕景の印象をより一層強く演出することができます。



春|夕方
横位置の広い画角で、夕陽、水平線、海岸線という複数の要素を入れることで、壮大な印象を与えることができます。

撮影地点

撮影地点については、次ページのマップをご参照ください。



撮影地点

- | | | |
|--------------|-------------|---------|
| A ダイヤモンド薩摩富士 | G 清水の湧水 | M 釜蓋神社 |
| B 岩屋公園 | H 知覧武家屋敷庭園群 | N 清流溝 |
| C コスモス畑 | I 瀬平自然公園 | O 大根やぐら |
| D 茶畑 | J 知覧特攻平和会館 | P 大野岳公園 |
| E 茶ばっけん丘 | K 川辺の朝霧 | |
| F 八瀬尾の滝 | L 前原海岸 | |

